

応需率(救命救急センターを除く)

	収容可能回答数	収容不能回答数	応需率	収容不能理由		
				処置不能	ベット満床	その他
平成28年	4,021	1,780	69.3%	1386	153	188
平成29年	3,624	1,828	66.5%	1434	181	174
平成30年	3,257	1,375	70.3%	1168	76	95
令和元年	4,014	1,217	76.7%	988	129	86
令和2年(1月~9月)	2,796	1,282	68.6%	1093	73	100

※収容可能、不能回答数は救命対応等による救命救急センターへの連絡を除いたものです。

※収容不能回答数と応需率からは、傷病者個別事情の数は除いています。

※収容不能の理由については、救急活動記録システムの理由に入力された場合のみのため、収容不能数と収容不能理由の数が一致するとは限りません。

救命救急センター応需率

	収容可能回答数	収容不能回答数	応需率	収容不能理由		
				処置不能	ベット満床	その他
平成28年	1,582	582	74.1%	262	240	80
平成29年	1,678	508	77.3%	325	111	72
平成30年	1,718	506	77.2%	442	11	53
令和元年	1,840	373	83.1%	162	98	113
令和2年	1,660	752	68.8%	506	53	193

※収容回答率は、警防本部が救命救急センターに連絡した回数(診療情報が×であっても連絡することがある。)に対しセンターが収容可能な回答をした比率である。